

高松自動車道の全線開通 鳴門IC～板野IC、高松中央IC～高松西IC間の建設事業

受賞機関 日本道路公団四国支社徳島工事事務所
日本道路公団四国支社高松工事事務所

はじめに

高松自動車道は徳島県鳴門市から愛媛県川之江市に至る全長122.2kmの高速自動車国道で、鳴門IC～板野IC間10.5kmは平成14年7月、高松中央IC～高松西IC間9.0kmは平成15年3月に開通を迎えた。これにより高松自動車道は昭和47年6月の善通寺～川之江間の施行命令から30年余りで完成・全通することとなった。

事業の概要

鳴門IC～板野IC間は、阿讃山脈の山裾を通過し、四国霊場八十八ヶ所めぐり一番札所の靈山寺や大麻比古神社等の神社仏閣が存在するとともに、第一次世界大戦時のドイツ人俘虜収容所跡地やこれらの記念館などの「ドイツ村公園」とも隣接している。このような歴史的風土を踏まえ「自然や地域と共生した高速道路づくり」を目指し周辺地域に調和した道路空間づくりを行った。

高松中央IC～高松西IC間は、沿線が市街化された高松市内の国道11号上を連続高架橋構造で通過することから、高架橋及び周辺環境を含めた景観検討を実施し、地域に調和した都市内高速道路づくりを行った。なお、この区間の内約3.9kmについては、国土交通省に施工を委託した。

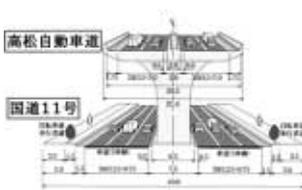
事業の特徴

(1) 緑のボランティア～グリーンセイヴァー～

地域の種を、地域の土・気候、地域の人(「グリーンセイヴァー」)によって育て、道路事業で生まれた新しい山に



位置図



高松道断面図



グリーンセイヴァー



ばんどうドイツ橋



バチ型橋脚

植樹するプロジェクトを行った。

種子拾いから発芽までをJH職員が行い、市民ボランティアによって1年間の生育の後、鳴門西PAの下り線ののり面に市民の手で植樹を行った。

(2) RC充腹式アーチ橋～橋梁名称を一般公募～

坂東谷川に架かる橋梁は、俘虜収容所跡地にある石造りのアーチ橋をモチーフとしたデザインとし、RC充腹アーチ橋を採用した。なお、橋名については地域の橋として親しまれるよう一般公募し、『ばんどうドイツ橋』とした。

(3) 連続高架橋の景観検討

市街化された沿道地域を分断することのないよう景観検討を実施し、構造形式・支間割・基本形状等の統一による連続性確保、曲線を用いた脚で創られる開放感のある桁下空間等の創出、また全線透光式遮音壁の採用による良好な走行環境確保などに取り組みながら事業を進めた。

おわりに

今回の開通により、高松自動車道が全線開通し、山陽自動車道、瀬戸中央自動車道ならびに神戸淡路鳴門自動車道と結びつき、瀬戸内海東側の循環型の高速交通ネットワークを形成するとともに、関西・中国圏との交流を促進し、四国の活性化に寄与するものと期待される。

受賞賛助会員 赤松土建(株)、(株)安部工業所、(株)大林組、オリエンタル建設(株)、鹿島建設(株)、川崎重工業(株)、川田工業(株)、極東工業(株)、(株)鴻池組、駒井鉄工(株)、佐伯建設工業(株)、清水建設(株)、須工ときわ(株)、(株)銭高組、大成建設(株)、大日本土木(株)、(株)竹中土木、鉄建建設(株)、ドービー建設工業(株)、東洋建設(株)、日本鋼弦コンクリート(株)、日本道路(株)、(株)日本ピーエス、(株)間組、(株)ピーエス三菱、日立造船(株)、(株)姫野組、(株)福田組、(株)富士ビー・エス、丸紅建設(株)、三井住友建設(株)、(株)宮地鐵工所、(株)横河ブリッジ